

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第6号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成22年1月18日 08時10分ごろ
発生場所	愛媛県今治市今治港天保山岸壁 今治港東防波堤灯台から真方位158°550m付近 (概位 北緯34°04.2′ 東経133°00.5′)
事故等調査の経過	平成22年1月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客船 第二せきぜん、179トン 137051、今治市 B 引船 なさみ丸、199トン C 巡視艇 せとぎり、110トン
乗組員等に関する情報	A 船長、五級海技士（航海） A 機関長、六級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	A 右舷中央部擦過傷 B 右舷船尾部擦過傷 C 左舷船尾部破口 岸壁 防舷材損傷
事故等の経過	A船は、船長ほか2人が乗り組み、旅客16人及び車両4台を載せ、今治港第3棧橋に着積しようとして操船中、クラッチが後進から前進に切り替わらず、平成22年1月18日08時10分ごろ、約2ノット(kn)の後進速力で、右舷中央部が天保山岸壁に衝突した。 A船は、機関長が機関室で主機を停止したが、後進惰力により右舷中央部が天保山岸壁に係留中のB船、続いて船首ランプゲートが第3棧橋南隣の棧橋に係留中のC船とそれぞれ接触した。 A船は、要請した引船にえい航されて第3棧橋に着積した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1
その他の事項	主機遠隔操縦装置の操縦ハンドル側ポテンションメータが摩耗していた。 主機遠隔操縦装置クラッチ側のポテンションメータ、電子基板等が損傷していた。 本事故前の岡村港入出港時、クラッチは正常に作動していた。 A船は、平成15年6月就航以来、主機遠隔操縦装置が業者によって点検されたことがなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 あり なし A船は、今治港第3棧橋に着積しようとして操船中、クラッチが後進から前進に切り替わらなかったため、約2knの後進速力で天保山岸壁に衝突し、続いてB船、C船にそれぞれ接触したものと考えられる。 A船は、主機遠隔操縦装置の電気制御システムが不調のため、クラッチが後進から前進に切り替わらなかったものと考えられる。
原因	本事故は、A船が今治港第3棧橋に着積しようとして操船中、クラッチが後進から前進に切り替わらなかったため、約2knの後進速力で天保山岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。	